

大分県立看護科学大学第7回 NP 国際会議

主催：公立大学法人 大分県立看護科学大学

後援：社団法人 大分県看護協会

大分県立看護科学大学は、平成20年4月から大学院修士課程においてNP(ナースプラクティショナー)養成教育を開始します。NPが医療の一部を担う役割をもてれば、現在の医師不足や偏在から生じる社会問題に看護教育が貢献できるのではないかと考えられます。さらにNPの導入によって医療の費用や質を改善できるのではないかと期待されます。しかし、NPは本学がわが国で初めて教育を始めるもので、社会的な認知や法的な制度は日本にはありません。今後、NPを社会的に推進していくためには、NP導入の社会的な効果を実証していくことが求められます。そこで、この問題について米国や韓国での社会的評価についての講演を企画しました。また、長い歴史と実績をもつ米国においてNPの教育の進展と課題についての講演も合わせて企画しました。NPに関心をもつ看護職だけでなく、医療に関心をもつ多くの方々に振るってご参加をお願いいたします。

NP教育の進展と質の高い保健サービスの提供に際してのNPの効果

“Progress of NP Education and the Effectiveness of NPs in Providing Quality Health Care”

日時：平成20年3月17日(月) 13:30-17:00 場所：大分県立看護科学大学 23講義室
参加費：500円(資料代、飲み物代含) プログラム：講演はすべて英語で行われます。

プログラム

13:30-13:35 開始の挨拶 Opening Remarks

13:35-14:20 NP教育の変遷とDNP(看護実践博士)

“Transitions in Nurse Practitioner Education and the Doctor of Nursing Practice (DNP)”
Marie-Annette Brown, PhD, RN, ARNP, FNP, FAAN
Professor, School of Nursing, University of Washington

14:20-15:05 NP活動の成果：質の高い保健サービスの提供に際してのNPの効果

“Outcomes of NP Practice: The Effectiveness of NPs in Providing Quality Health Care”
Jamesetta A. Newland, PhD, APRN, BC, FNP, FAANP, FNAP
Adjunct Associate Professor, Lienhard School of Nursing, Pace University

15:05-15:20 Break

15:20-16:05 韓国における質の高い保健サービスを提供する際のNPの効果評価

“Evaluation of the Effectiveness of NPs in Providing Quality Health Care in Korea”
Eunyoung E. Suh, RN, FNP, PhD
Assistant Professor, College of Nursing, Seoul National University

16:05-16:30 大分県立看護科学大学におけるNP教育とその課題

“NP Education and its Challenging Issues for Oita-NHS”
Hiromi Fukuda, RN, PhD
Assistant Professor, Oita University of Nursing and Health Sciences

16:30-17:00 総合討論(写真撮影) Discussion and Conclusions, Group Photograph

応募方法：e-mail (npmeeting7@oita-nhs.ac.jp) に所属、氏名を明記の上、ご送付下さい。

応募締め切り：平成20年3月13日(木)

〒870-1201 大分県大分市大字廻栖野 2944-9、大分県立看護科学大学内 NP国際会議事務局
TEL：097-586-4420、FAX: 097-586-4384